

2019.1【vol.76】

水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西・吉野川支社淀川本部 発行

水資源機構全体の取り組みや関西管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

1. 新年のご挨拶	1 p
2. 関西管内の水源地状況と気象	2 p
3. 関西管内の主な出来事	6 p
4. 川上ダム本体工事の進捗状況について	7 p
5. 日吉ダム定期検査視察会を開催	8 p
6. 琵琶湖開発施設管理状況報告会を開催	9 p
7. 淀川本部・中部支社合同の講習会を開催	10 p
8. 水道業務体験研修に参加して	11 p
9. 平成30年度水資源機構技術研究発表会（結果報告）	14 p
10. イベント情報	15 p



1. 新年のご挨拶

「淀川流域の更なる安全と安心を目指して」

平成 31 年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には平素より独立行政法人水資源機構の業務に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

関西・吉野川支社におきましては、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」との当機構の経営理念のもと、淀川水系の高山ダム等 7 ダム、琵琶湖開発施設、正蓮寺川利水施設の管理事業と川上ダム建設事業と丹生事業(事業廃止に伴う事業)を実施しています。



昨年は、6 月 18 日に発生した最大震度 6 弱を記録した大阪府北部地震、さらに翌月には中四国地方で甚大な被害をもたらした平成 30 年 7 月豪雨やその後連続した台風等と自然災害の脅威に直面した年となりました。

7 月豪雨では、日吉ダムは平成 25 年の台風 18 号に続いて 2 回目、一庫ダムでは昭和 58 年の管理開始以降初めてとなる異常洪水時防災操作を行った記録的な豪雨となりましたが、ダムの洪水調節により洪水のピーク時刻を大幅に遅らせたことや下流河川の整備と相俟って大幅に被害の軽減を図ることが出来ました。同じく 7 月には紀伊半島に上陸後、西進して九州に至った特徴的な進路をとった台風 12 号、それ以降も近畿地方に上陸した台風 20 号、21 号、24 号など、9 月まで風水害対応が続き、例年と比べて倍近くの防災体制を執って対応し、洪水被害の軽減を図りました。平成 21 年台風 10 号での名張川ダム連携操作、25 年台風 18 号での日吉ダム操作及び 29 年台風 21 号の全ダム操作と温暖化等による異常気象が当たり前のようになり、より細心のダム操作を行うよう管理技術の高度化を図って参ります。

利水では、10 月から 12 月までの降水量が平年に比べ少なく、日吉ダムでは管理開始以来の最低の貯水位が続きましたが、琵琶湖や日吉ダムを含むダム群の補給により安定して下流への水供給を行うことができました。

近年、広島豪雨災害、関東・東北豪雨災害、九州北部豪雨災害、今年の 7 月豪雨など、全国でもこのような災害がいつ起こってもおかしくありません。関西・吉野川支社では、今後とも治水・利水の両面にわたり、各管理施設の管理・運用に万全を期し、最大限の効果が発揮できるように努めてまいります。

さらに、平成 34 年度完成に向けて川上ダムを促進するとともに、事業中止となった丹生ダムに伴う地域整備につきましても関係機関と連携して進めてまいり所存ですので、本年も更なるご支援をよろしくお願い致します。

独立行政法人水資源機構

関西・吉野川支社長 片山 光也

2. 関西管内の水源状況と気象

(1) 関西管内の水源状況（2019年1月）と今後の見とおし

関西管内の各ダム及び琵琶湖における今年1月の水源状況は次のとおりです。

1月31日の貯水率は、1月のダム地点降水量が、全ての施設において平年値を大きく下回っていることから平年より低くなっており、今後の水源状況に注意してまいります。

なお、気象庁の降雨予報によると、2月から4月の間は、低気圧や寒気の影響を受けやすく、向こう3か月の降水量は、平年並か多い見込みとなっています。

(1月31日9:00時点)

施設名	所在地 (予報区)	ダム地点降水量		ダム貯水率	
		(mm)	(平年値)	(%)	(平年値)
高山ダム	京都府山城南部	9	57	78.6	76.0
青蓮寺ダム	三重県伊賀	9	57	81.4	82.5
室生ダム	奈良県北東部	11	60	63.4	79.8
布目ダム	奈良県北西部	18	55	91.3	78.6
比奈知ダム	三重県伊賀	9	52	76.8	88.2
一庫ダム	兵庫県阪神	6	46	55.9	55.2
日吉ダム	京都府南丹・京丹波	8	49	56.0	92.0
琵琶湖	滋賀県全域	103	124	BSL-0.34m	BSL-0.22m

※ダム地点降水量は1月1日～30日までの累計雨量です。

※ダム地点降水量平年値は1月の累計降水量の平年値です。

※ダム貯水率、ダム貯水率平年値は1月31日の値です。

(2) 関西管内水源情報について

関西管内における各ダムの貯水状況、補給状況等詳細情報は、関西・吉野川支社淀川本部ホームページの「水源情報」に掲載しておりますのでご覧下さい。

[水資源機構関西・吉野川支社淀川本部HPアドレスー水源情報]

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(参考) 気象情報 (大阪管区気象台HPより抜粋)

① 近畿地方の天候 (2018年12月)

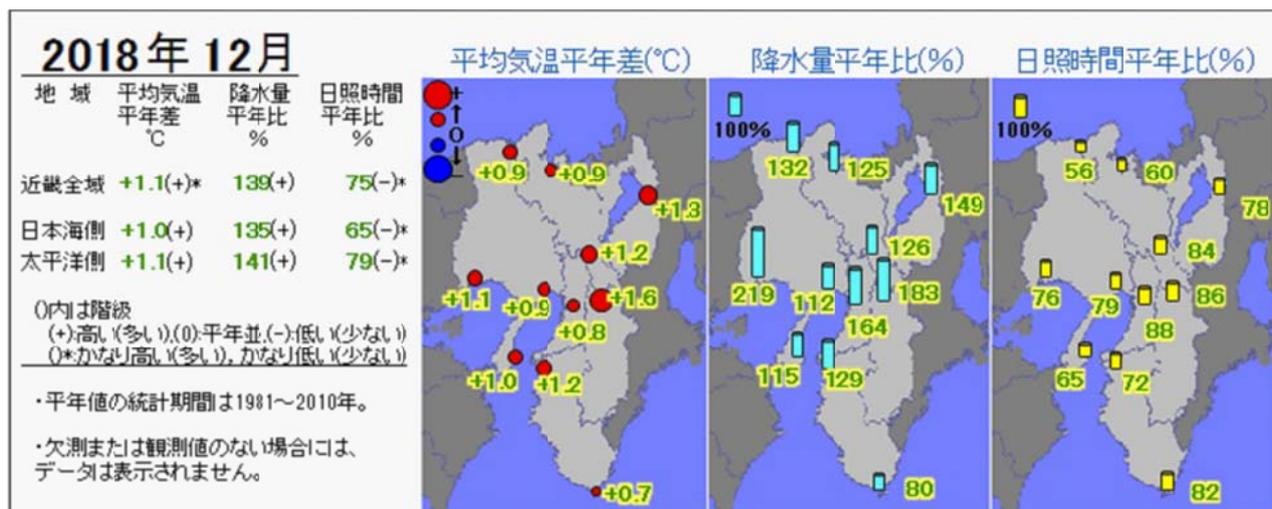
高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多くなりました。下旬は冬型の気圧配置が強まった時期があり、日本海側では、大雪となったところがありました。

上旬：期間のはじめは高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

中旬：期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、気圧の谷や寒気の影響で日本海側を中心に曇りや雨、山間部では雪の日が多く、期間の前半は大雨となった所がありました。また、期間の後半は冬型の気圧配置が強まった影響で、日本海側では荒れた天気となった所がありました。

下旬：期間の中頃は高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、気圧の谷や寒気の影響で日本海側を中心に曇りや雨または雪の日が多くなりました。22日は低気圧が本州の南岸を通過した影響で、太平洋側では大雨となった所がありました。また、期間の後半は冬型の気圧配置が強まった影響で、沿岸部では荒れた天気となったほか、日本海側では、大雪となった所がありました。

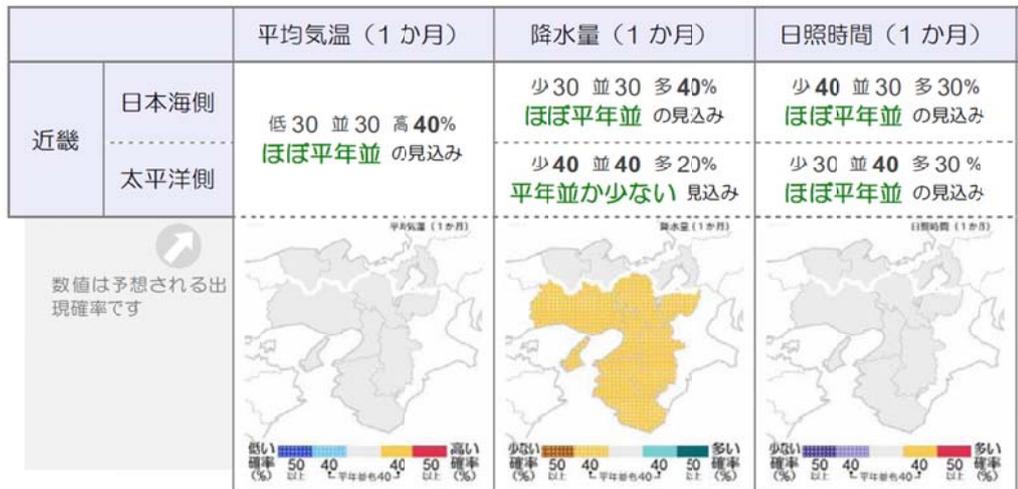
	上 旬		中 旬		下 旬	
	気 温	降水量	気 温	降水量	気 温	降水量
日本海側	かなり高	多く	平年並	多い	高く	多く
太平洋側	かなり高	多く	平年並	かなり多く	平年並	平年並



② 近畿地方の天候の見とおし（大阪管区气象台HPより抜粋）

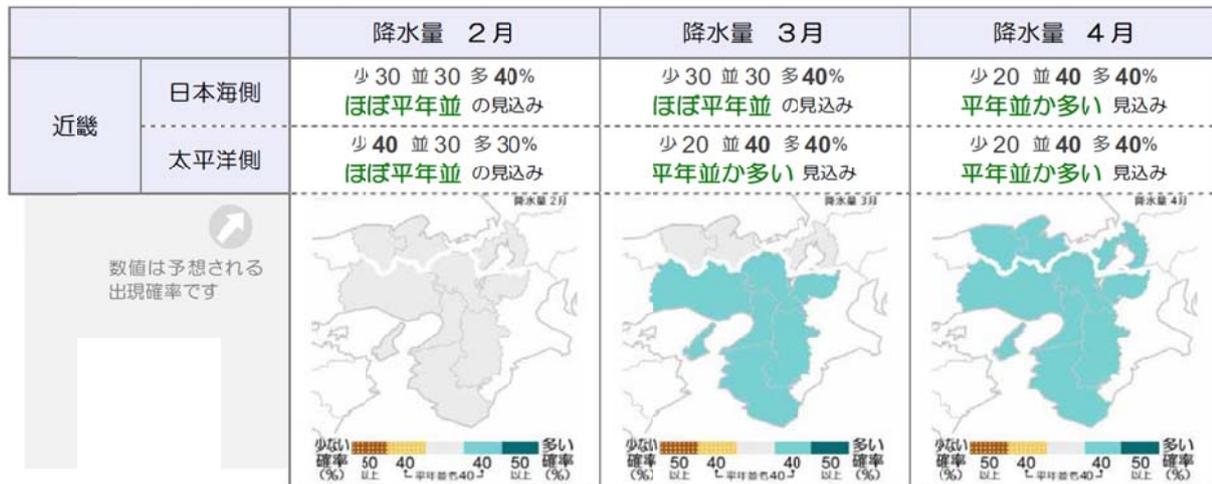
1ヶ月予報（1月26日から2月25日まで）

平均気温は、1週目ははじめに寒気の影響を受けるものの、その後は暖かい空気に覆われやすく高い見込みで、2週目は寒気の影響を受けやすく平年並みか低くなるでしょう。3週目から4週目にかけてはほぼ平年並みの見込みで、向こう1か月を平均した気温は、ほぼ平年並みとなるでしょう。



3ヶ月予報（2月から4月まで）

- 2月 日本海側では平年と同様に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。太平洋側では平年と同様晴れの日が多い見込みです。
- 3月 日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ、晴れの日が少ない見込みです。
- 4月 天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ、晴れの日が少ない見込みです。



流域・水源の雨量・貯水量・貯水量・ダムからの補給量一覧表

2019年1月30日 9時00現在

ダム名	水位(※2)		貯水量(※1.2)			流量(※2)		補給量(過去3ヶ月:11月~1月)(※3.4.6)			雨量(過去3ヶ月:11月~1月)(※5.6)								
	貯水位(標高m)	貯水量(万m3)	貯水率(%)	平年貯水量(万m3)	平年貯水率(%)	貯水量(万m3)	貯水率(%)	当日9時の補給量(m3/s)	ダム放流量(m3/s)	当日9時の補給量(m3/s)	累計補給量(過去3ヶ月)(万m3)	平年ダム累計補給量(過去3ヶ月)(万m3)	補給量平年比率(過去3ヶ月)(%)	H31.1月補給量(1日~29日)(万m3)	平年1月月間補給量(万m3)	累計雨量(過去3ヶ月)(mm)	平年累計雨量(過去3ヶ月)(mm)	雨量平年比率(過去3ヶ月)(%)	H31.1月降水量(1日~29日)(mm)
高山ダム	130.59	3,855	78.4	3,730	75.8	3,45	1.08	0.0	668	348	192.0	0	76	134	195	68.7	9	57	
青蓮寺ダム	273.17	1,557	81.5	1,575	82.4	0.20	0.56	0.4	278	120	231.7	0	34	121	188	64.4	9	57	
聖生ダム	289.97	844	63.5	1,060	79.7	1.29	1.28	0.0	15	65	23.1	0	18	125	202	62.0	11	60	
布目ダム	282.74	1,165	91.7	986	77.6	0.73	1.38	0.7	0	149	0.0	0	53	152	187	81.2	18	55	
比奈知ダム	295.87	1,178	77.0	1,342	87.7	0.59	0.86	0.3	8	32	25.0	0	15	137	173	79.3	9	52	
一庫ダム	137.36	1,498	55.9	1,476	55.1	0.88	0.88	0.0	5	206	2.4	0	71	70	179	39.1	6	46	
日吉ダム	181.34	2,004	55.7	3,296	91.6	5.94	4.04	0.0	732	346	211.6	0	70	76	175	43.3	8	49	

湖沼名	水位(※2)		雨量(過去3ヶ月:11月~1月)(※5.6)					
	(B.S.L)	平年水位(m)	平年値との差(m)	累計雨量(過去3ヶ月)(mm)	平年累計雨量(過去3ヶ月)(mm)	雨量平年比率(過去3ヶ月)(%)	H31.1月降水量(1日~29日)(mm)	平年1月月間雨量(mm)
琵琶湖	-0.34	-0.22	-0.12	312	350	89.2	103	124

※ 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しております。

※2 貯水位(琵琶湖を除く)、貯水量、流量は当日9時のデータです。琵琶湖水位は当日6時の値です。

※3 補給量は当日0時までのダム放流量と流入量の差を累計した値です。

※4 当日9時の補給量は瞬時値として当日9時における放流量と流入量との差で表しております。

※5 雨量は当日0時までの累計値です。

※6 補給量、雨量(琵琶湖除く)の平年累計値は平成11年4月以降(ダム管理開始)からのデータを使用しております。

琵琶湖雨量の平年累計値は平成4年4月以降からのデータを使用しております。

流域名	雨量(過去3ヶ月:11月~1月)(※7.8.9)				
	累計雨量(過去3ヶ月)(mm)	平年累計雨量(過去3ヶ月)(mm)	雨量平年比率(過去3ヶ月)(%)	H31.1月降水量(1日~29日)(mm)	平年1月月間雨量(mm)
枚方上流域	212	245	86.5	55	78
桂川流域	143	221	64.7	32	68
宇治川流域	118	187	63.1	8	54
木津川流域	121	177	68.4	12	51
猪名川流域(※9)	68	171	39.8	2	46

※7 暫定値であり数値は変動する場合があります

※8 雨量の平年累計値は平成6年からのデータを使用しております。(24年間)

※9 猪名川流域は、ダム下流の上池田地点雨量を使用しております。

(出典:国土交通省水文水質データベース)

3. 関西管内の主な出来事

関西管内における前号発行（平成 30 年 11 月 30 日）以降の主な出来事をお知らせします。

12 月 2 日（日）：やまぞえ布目ダムマラソン大会が開催

（主催：やまぞえ布目ダムマラソン実行委員会）

3 日（月）～7 日（金）：水道業務体験研修を実施（研修場所：大阪広域水道企業団）

7 日（金）：「災害時における支援活動に関する協定」の締結

（日本水道協会、水資源機構）

https://www.water.go.jp/honsya/honsya/news/backnumber/news181207_01.html

11 日（火）：平成 30 年度気象講習会及び環境学習会を開催（淀川本部）

12 日（水）～14 日（金）：水道業務体験研修を実施（研修場所：阪神水道企業団）

14 日（金）：関西管内安全協議会を開催（川上ダム）

15 日（土）：比奈知ダム星空観測会（主催：名張市環境対策室）

1 月 15 日（火）：高山ダム施設見学を実施

（お茶の京都 DMO 催行バスツアー）（協力：木津川総管）

16 日（水）：琵琶湖開発施設管理状況報告会を開催（淀川本部・琵琶湖総管）

20 日（日）：大阪広域水道企業団・市町村親睦駅伝大会が開催され、パネル出展

（主催：大阪広域水道企業団）（淀川本部）



4. 川上ダム本体工事の進捗状況等について

川上ダム建設事業は、平成 29 年 9 月に契約した「川上ダム本体建設工事」を鋭意進捗中です。

現在、丈夫な岩盤まで掘削する基礎掘削を行っており、平成 30 年 12 月末時点で約 44%の掘削を完了しています。平成 31 年の秋頃からはダム本体のコンクリート打設を開始する予定です。

工事現場の状況については、定点から LIVE カメラで撮影しておりますので、日々刻々と変化している様子をご覧頂けます。

映像では物足りないと思われる皆様には、川上ダム工事現場見学会を毎月第 3 日曜日に開催しています。午前の部と午後の部の 2 回、各 2 時間程度の見学行程ですので、興味のある方は工事現場見学会に参加してみてもはいかがでしょうか。（近々の見学会は、2 月 17 日（日）に開催予定です。）

また、伊賀市及び近隣市町村の小学校等を対象に、川上ダムの役割や環境保全の取組、水の大切さなどについて、皆様に広く知って頂くための「出前講座」も実施しております。

上記事項の詳細につきましては、川上ダム建設所ホームページをご覧ください。



<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami/>



川上ダム右岸天端 LIVE カメラの映像（H31 年 1 月 16 日 10 時時点の映像）

5. 日吉ダム定期検査視察会を開催

平成 30 年 11 月 28 日(水)から 11 月 29 日(木)にかけて、日吉ダムにおいてダム定期検査が行われました。ダム定期検査は、国が定める「ダム検査規程」に基づき、3 年に 1 回以上の頻度でダムの維持、操作その他の管理の状況について検査するもので、その結果については河川管理者に報告しています。また検査の結果は、施設の維持管理方針や設備の更新計画を立案するための基礎としても使用しています。

今回の定期検査の実施にあたり、関西管内の事業に参画されている利水者、発電事業者並びに関係府県の皆様を対象とした視察会を 11 月 28 日に開催し、10 機関 16 名の方に参加いただきました。

この視察会は、検査の状況をご覧頂くことにより機構事業への理解を深めて頂くことを目的として平成 25 年度から開催しており、今回で 6 回目となります。

視察会では、ダム定期検査の実実施手順、検査手法及び検査項目、また、今回検査を行う日吉ダム管理所の概要を説明した後、現場において実施されている機側での非常用洪水吐きゲート対向試験など、現地検査の状況の一部をご覧頂きました。

参加された皆様からは、「堤体の変形、漏水量、揚圧力の評価の視点が分かってよかった」、「一般公開していない部分が見れて良い経験となりました」等の感想をいただき、概ね満足いただいた意義のある視察会となりました。

(定期検査視察会内容)

会議室	定期検査説明、ダム概要説明
非常用洪水吐きゲート	非常用洪水吐きゲート対向試験
三角堰	漏水量測定説明
ブルムライン前	たわみ計測説明
管理用水力発電設備	管理用水力発電設備検査内容
ダム操作室	操作室設置設備説明

※視察会終了後、意見交換を実施。



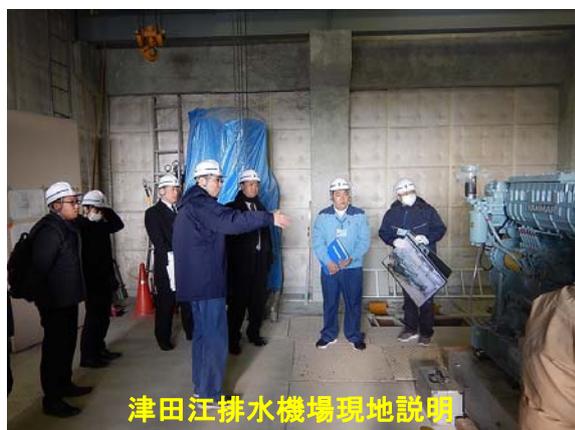
6. 琵琶湖開発施設管理状況報告会を開催

平成31年1月16日に琵琶湖開発事業に参画されている利水者の皆様を対象とした「管理状況報告会」を琵琶湖開発総合管理所で開催し、4機関5名の皆様が参加されました。

報告会では、琵琶湖開発事業や管理状況の概要を説明するとともに、現地において、具体的な設備更新の状況を見ていただきました。

参加された皆様からは、「琵琶湖開発事業について知ることができる機会を設けて頂きありがとうございました」や「財政、監査等で必要性を聞かれた際に資料等のみで伝えるより、実際に現場を見ることにより、よりリアリティのある説明ができる」という意味で今日のような説明会は有意義でありますので、是非今後もこのような機会を設けていただきたいです」などのご意見をいただき、琵琶湖開発事業への理解を深めていただけたものと感じております。

今後も、報告会を通じて、機構施設の現状等をご紹介することにより、皆様に機構事業へのご理解を深めていただけるよう取り組んで参ります。



7. 淀川本部・中部支社合同の講習会を開催

淀川本部・中部支社管内の機械担当者を対象に11月29日、30日の2日間に渡り、ポンプ設備講習会を開催しました。

今回の講習会は、中津川管理室のポンプ設備の整備工事に合わせ、受注者である日立製作所の技術者の協力をもとに企画した若年層～中級向けのプログラムです。

1日目はポンプの基礎技術を中心にポンプ形式からリニューアルの考え方、近年の診断技術などの講習を受け、各コンテンツの終わりの質問時間には、参加者の多くが質問し理解を深めようとする真剣な姿勢が見られました。

2日目は、分解作業の特殊な内容を学ぶため、整備工事が進められている中津川管理室に講義の場を変えました。

機構内でも特殊な事業を行っている「正蓮寺川利水事業」について、中津川の歴史や名前の由来、水資源開発の経緯、現状の管理、今年度の工事概要についての説明を行ったのち現場見学を行いました。今年度は可動翼ポンプの分解整備であり、当日の現場内は分解された部品が所狭しに並べられ、確保された通路では日立製作所の技術者に質問する者、普段見ることの出来ない部品や劣化状況、焼き嵌め*された大型ベアリングの交換作業を写真に残す者など熱心に見学していました。

* 常温では軸より小さな穴を加熱することで膨張させ、はめ合わせて結合すること

機構内各事務所に少人数で配属される機械担当者は多くの機械設備を知る必要がありますが、淀川本部、中部支社管内はダムゲート設備の現場が多く、ポンプ設備に向き合う機会が少ない状況です。また、若い人材が増えていく中で個別事務所だけでは学ぶ内容も限られています。

淀川本部では今後も機械担当者の講習会を定期的実施し、技術力の向上を図って行きます。



29日の講習会の様子



30日の概要説明の様子



30日の高見機場見学状況



30日の分解整備見学状況

8. 水道業務体験研修に参加して

水道業務体験研修は、機構職員の人材育成の一環として、水道事業の実情について身をもって知るにより、利水者である水道事業者の視点を理解し、将来の業務遂行の礎とすることを目的として、平成 18 年から実施しています。

今年度は、大阪広域水道企業団(12月3日～7日で実施)と阪神水道企業団(12月12日～14日で実施)で研修を実施し、浄水場や水質管理センター等の業務を体験するとともに、各施設の役割や効果について、企業団職員の皆様からご講義いただきました。

年末のお忙しいところ、研修生の受け入れにご協力いただきました両企業団の皆様に変更して厚く御礼申し上げます。

ここでは、今回の水道業務体験研修を通して、研修生が学んだことや感じたことについて、ご紹介させていただきます。

<大阪広域水道企業団で受講した2名>

◆木津川ダム総合管理所 比奈知ダム管理所 小川 将和

本研修を通して、我々が放流している水がいかにして市民まで供給されているかを学び、河川への安定供給の大切さ、機構職員としての立場を再認識することができました。

また、私は電気通信職であるため「企業団の設備システム」を重点的に教えていただきました。設備の現状や今後の予想はもとより、「需要予測システム」の使用方法や「保全・図面情報管理システム」といった新システムなど、機構で参考にするべき技術も見学させていただいたので本研修にて学んだことを日々の業務に活かしたいと思います。

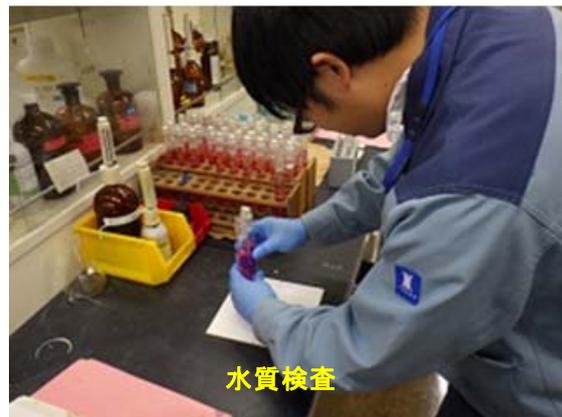
最後になりますが年末のお忙しい中、丁寧な対応をしてくださり本当にありがとうございました。

◆木津川ダム総合管理所 室生ダム管理所 岡田 裕也

今回の研修において、我々の管理するダムから放流される水が、どのような形で一般の家庭まで到達しているのか、そこにどのような努力が注がれているかを直接学ぶことができました。我々の水管理において非常に重要で、必ず知っておくべき知識を得られたと思います。

日々の水需要への対応や送水の管理についてもダムとはまた違った目線を知ることが出来ました。また、点検支援システムや完成図書閲覧システムなど、設備系職員としても参考にするべき点を多々勉強させていただきました。今後も意見交換や人材交流などで、お互いに実りある関係を継続できたらと思っています。

最後になりますが、業務多忙の中、実習も交えた丁寧な説明や施設見学などを実施いただき、大変感謝しております。今回の研修で得た知識を、今後の業務に活かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



<阪神水道企業団で受講した2名>

◆川上ダム建設所 工務課 野田 有佑

今回の研修を通して、阪神水道企業団の方々の緻密な管理によって安定的に水道が利用出来ることを再確認することができました。

淀川の水を取水する地点では、ゴミの流入を防ぐためスクリーンがついています。しかし、土砂や水に溶けた成分は処理が必要で、刻一刻と変化する淀川の水質によって処理方法を微調整されています。そのため、企業団の方が淀川の水質に関わるダムからの放流水およびダムの操作方法について、高い関心を持っておられた点が印象に残りました。

川上ダムが完成すると、伊賀市がダムの水を水道の水源として使用することになります。安全で良質な水を安定して安く供給するという弊社の経営理念に則り、ダムから放流する水を下流で使用する方がいることに思いをはせながら、今後の業務にあたりたいと考えています。

◆日吉ダム管理所 茶木 幸

このたびは 12 月の大変お忙しい時にもかかわらず、阪神水道企業団様におかれましては研修する機会をいただきありがとうございました。研修においては座学のみならず現地体験をさせていただきました。特に水質に関しては水道水の供給を担う立場として、淀川本川のみならず水源地を含む全体の状況について高い関心を持って事業運営を行っていることを知り、水源地管理を担っている機構業務の重要性について改めて考えさせられました。

また、阪神水道企業団様においては敷地の一部を民間企業に貸し付けることで資産の有効活用を行っており、この事例については機構においても採用できる可能性があると感じました。

最後になりますが、今回の研修で学んだ事を活かして、今後の業務に取り組んでまいります。



9. 平成30年度水資源機構技術研究発表会（結果報告）

平成30年12月18日～19日に、水資源機構本社において「平成30年度（第52回）水資源機構技術研究発表会」が開催されました。

関西管内より推薦しました6題を含む30題の内、理事長賞6題、特別賞4題が受賞となり、関西管内から推薦した論文については、理事長賞1題、特別賞1題が見事に受賞しました。来年度も理事長賞目指して、研鑽して参ります。



受賞者と審査員

【理事長賞】

論文名	所属	氏名
ロックフィルダムにおける GPS 計測を用いた長期変異挙動と近似手法	総合技術センター	久保田 貴史
矢木沢ダムにおける劣化コンクリートの補修事例	沼田総合管理所	山本 晃世
画像認識技術を活用した糠田排水機場の運転監視～維持管理の高度化への取り組み～	利根導水総合事業所	二村 健太
タブレット端末を用いた巡視支援システムの開発について	琵琶湖開発総合管理所	春名 聡志
ロックフィルダムの盛立工における挑戦－ICT 施工の全面展開－	朝倉総合事業所	福島 雅人
ダム操作状況のリアルタイム情報発信について	荒川ダム総合管理所	関口 悠太

【特別賞】

論文名	所属	氏名
ICT を活用した職員支援システムの導入効果とさらなる利活用	琵琶湖開発総合管理所	中嶋 恵美
未処理用地における民事訴訟法第35条に基づく特別代理人制度を活用した新たな解決手法について	池田総合管理所	浦川 裕次郎
記憶に残る定礎式を～小石原川ダム定礎式を終えて～	朝倉総合事業所	尾花 杏子
弥富送水システムのリスクマネジメントについて～fail safe を目指した対策～	木曾川用水総合管理所	重中 亜由美

10. イベント情報

水源地周辺で行われる主なイベントなどを紹介します。



開催時期	行事名・主催	開催場所	概要
平成31年 1月10日(木) ～3月10日(日) 開催中	第68回 長浜盆梅展 公益社団法人長浜観光協会 HP http://bonbai.jp/	滋賀県長浜市港町2-5 (慶雲館内)	歴史・規模ともに「日本一の盆梅展」。 明治の和風建築「慶雲館」のお座敷に、ずらりと並んだ盆梅は見ごたえたっぷり。
平成31年 2月3日(日) 申込受付は 終了しています	第5回南山城村 高山ダム駅伝 南山城村お茶っぴクラブ、南山城村社会体育振興会 HP http://myvillage-sc.com/takayama/index.html	高山ダム周辺 (京都府相楽郡南山城村)	自然に恵まれた京都府唯一の村「南山城村」の高山ダムにて、ダム湖周辺を走りま す。小学生・中学生・高校生・一般の部があります。
平成31年 2月17日(日) 申込受付は 終了しています	第34回月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会 月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会事務局 HP http://www.e-marathon.jp/tsukigase/index.php?menuindex=1	高山ダム周辺 (京都府相楽郡南山城村)	10kmコース・5kmコース・3km コースがあります。美しい空 気と豊かな自然景観に恵ま れた月ヶ瀬梅溪を会場に、 心のふれあいと交流の輪を 広げることを目的としてい ます。
平成31年 2月24日(日) 要申し込み 1月31日まで	第33回名張青蓮寺湖駅伝競走大会 名張青蓮寺湖駅伝競走大会事務局 HP http://www.asint.jp/~budoiki2/svorenii.html	青蓮寺ダム周辺 (三重県名張市)	一般(男子・女子・混成)、中 学生((男子・女子・混成)の 各部があります。淀川流域 の交流及び参加者の体力づ くりと相互の融和をはかり、 健康で明るい地域社会の形 成に努めることを目的とし ています。
平成31年 3月中旬 ※雨天中止の場合は 翌日 (日時未定)	曾爾(そに)高原山焼き 曾爾村観光協会 HP https://sonimura.com/event/4/	奈良県宇陀郡曾爾村太 良路(曾爾高原)	秋にはススキで覆い尽くされ ていた曾爾高原で、草木が 芽を吹く前のこの時期に山 焼きがおこなわれます。 曾爾の春を迎える伝統行事 となっています。

国土交通省のダムツーリズムHPにもいろいろな情報が載っています。



http://www.mlit.go.jp/river/dam/dam_tourism.html

